

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成26年1月30日(2014.1.30)

【公開番号】特開2012-137227(P2012-137227A)

【公開日】平成24年7月19日(2012.7.19)

【年通号数】公開・登録公報2012-028

【出願番号】特願2010-289259(P2010-289259)

【国際特許分類】

F 24 F 13/15 (2006.01)

F 24 F 13/20 (2006.01)

【F I】

F 24 F 13/15 C

F 24 F 1/00 401 C

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月9日(2013.12.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

吸込口と吹出口とを備え、同吹出口の上壁と下壁との間に板状の支柱を備え、同支柱に備えた支軸部により上下風向板の回動軸部が回動自在に軸支された空気調和機において、前記支軸部は、前記支柱の前端上部と前端下部とを結ぶ仮想線より前方に延出しており

前記支柱は、前記支軸部が板厚方向に撓むように一端に開放端を有し、他端が前記仮想線より後方に延出するスリットを備えていることを特徴とする空気調和機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

吸込口と吹出口とを備え、同吹出口の上壁と下壁との間に板状の支柱を備え、同支柱に備えた支軸部により上下風向板の回動軸部が回動自在に軸支された空気調和機において、前記支軸部は、前記支柱の前端上部と前端下部とを結ぶ仮想線より前方に延出しており、前記支柱は、前記支軸部が板厚方向に撓むように一端に開放端を有し、他端が前記仮想線より後方に延出するスリットを備えていることを特徴としている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

前部の上下風向板10は、吹出口5の上壁5aから垂下された支軸片8によって、吹出

図 5 の前部上位における上下方向の風向を偏向できるように支持されており、後部の上下風向板 13 は、支柱 6 の前端下部から下方に延出された支軸片 11 によって、吹出口 5 の後部下位における上下方向の風向を偏向できるように支持されている。このとき、支軸片 11 は支柱 6 の前端上部と前端下部とを結ぶ仮想線より前方に延出している。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

支柱 6 は、支軸片 11 が板厚方向に弾性変形できるように開放端を有するスリット 7 を備えた構成になっており、このスリット 7 は、図 2 (A) 乃至図 2 (C) に示すように、支軸片 11 の後部に、下端部を開放して支柱 6 の上方に延びるように形成されている。このとき、スリット 7 は開放端から支柱 6 の前端上部と前端下部とを結ぶ仮想線より後方に延出している。